

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 12 月 16 日(2024.12.16)

【公開番号】特開 2024-105581(P2024-105581A)  
【公開日】令和 6 年 8 月 6 日(2024.8.6)  
【年通号数】公開公報(特許)2024-146  
【出願番号】特願 2024-79882(P2024-79882)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 12 月 6 日(2024.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤と、変位可能に構成される変位手段と、その変位手段に第 1 の部位が係合されており、前記変位手段に対する相対移動が可能に構成される相対移動手段と、その相対移動手段の第 2 の部位の所定部を支持する支持手段と、前記変位を生じさせるための駆動力を発生させる駆動手段と、を備える遊技機であって、

前記支持手段は、前記遊技盤に備えられ、

前記変位手段は、第 1 の区間および第 2 の区間を、変位可能に構成され、

前記遊技機は、

30

前記変位手段が前記第 1 の区間を変位する場合において前記第 2 の部位の前記所定部とは異なる特定部が変位される第 1 位置と第 2 位置とを結ぶ直線の方角と、前記変位手段が前記第 2 の区間を変位する場合において前記特定部が変位される第 3 位置と第 4 位置とを結ぶ直線の方角とが異なるよう構成され、

前記変位手段が平行移動するように構成され、

前記変位手段の変位方向とは異なる方向における前記所定部の変位が抑制され、

前記変位手段が前記第 1 の区間に位置される状態であって前記特定部が前記第 1 位置に位置される第 1 状態と、前記変位手段が前記第 2 の区間に位置される状態であって前記特定部が前記第 4 位置に位置される第 2 状態と、を構成可能とされ、

少なくとも前記駆動力によって、前記第 1 状態から前記第 2 状態に変化可能とされ、

40

前記第 2 状態において、遊技者に所定の価値を付与し得ることを認識可能に構成され、

前記相対移動手段は、前記変位手段を変位させる場合に前記所定部を中心として回転動作されることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

パチンコ機等の遊技機において、変位手段と、その変位手段に対する相対移動が可能に

50

構成される相対移動手段と、を備える遊技機がある（特許文献１）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、相対移動手段の移動を好適とするという観点で改善の余地があるという問題点があった。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、相対移動手段の移動を好適とすることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

この目的を達成するために請求項１記載の遊技機は、遊技盤と、変位可能に構成される変位手段と、その変位手段に第１の部位が係合されており、前記変位手段に対する相対移動が可能に構成される相対移動手段と、その相対移動手段の第２の部位の所定部を支持する支持手段と、前記変位を生じさせるための駆動力を発生させる駆動手段と、を備える遊技機であって、前記支持手段は、前記遊技盤に備えられ、前記変位手段は、第１の区間および第２の区間を、変位可能に構成され、前記遊技機は、前記変位手段が前記第１の区間を変位する場合において前記第２の部位の前記所定部とは異なる特定部が変位される第１位置と第２位置とを結ぶ直線方向と、前記変位手段が前記第２の区間を変位する場合において前記特定部が変位される第３位置と第４位置とを結ぶ直線方向とが異なるよう構成され、前記変位手段が平行移動するように構成され、前記変位手段の変位方向とは異なる方向における前記所定部の変位が抑制され、前記変位手段が前記第１の区間に位置される状態であって前記特定部が前記第１位置に位置される第１状態と、前記変位手段が前記第２の区間に位置される状態であって前記特定部が前記第４位置に位置される第２状態と、を構成可能とされ、少なくとも前記駆動力によって、前記第１状態から前記第２状態に変化可能とされ、前記第２状態において、遊技者に所定の価値を付与し得ることを認識可能に構成され、前記相対移動手段は、前記変位手段を変位させる場合に前記所定部を中心として回転動作される。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

請求項１記載の遊技機によれば、相対移動手段の移動を好適とすることができる。

10

20

30

40

50